

滋賀県立石山高等学校 平成 26 年度 高大連携等実施事業

学習委員会の実施する事業

<p>1 現状と目指すべき方向性</p> <p>過去5年間、京都大学における合格者数 / 受験者数は 1/5 であり、国公立大学100人超の合格者を出す高校としてはいささか物足りない。本校生徒により一層の高みを目指させ、志を掲げて高校生活を送らせる必要がある。敢えてチャレンジしようとする「高い志」を持ち、知的好奇心に富み、広い視野を有した生徒を育成すべく、学校組織として取り組んでいく。</p>	<p>2 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● H27 年度入試 京大・阪大受験者数 「卒業生数の1割以上」 ● H28 年度入試 京大・阪大合格者数 「現浪合計 20 名以上」 ● H29 年度入試以降この実績を維持
---	--

その他の事業

コアSSH事業

内容: グループ研究・英語学習・プレゼンテーション・イギリス研修他

回数: 11回

他、イギリス研修 13日間

対象・定員: 2年4名

他、オブザーバー8名

オブザーバーは1年生も可

講師: 大学教授他

「ようこそ先輩！石高へ」は、H26年度より、「石山高校オープン・アカデミー事業」として実施。講師は本校OBに拘らず招聘。
 「石高・みらいの教師塾」(H23年度から3年間の事業)はH25年度で終了し、H26年度より県教育委員会が実施する高大連携事業に移行。
 「オープン・アカデミー」「アカデミック・フィールドワーク」および「アカデミック・キャンパス」3事業の計画、調整および運営は主として教頭・教務課2名・進路課2名が担当する。

